日本語能力試験Ｎ１　「合格体験記」

Ｎ１へのジャーニー

中部学院大学短期大学部　社会福祉学科２年生
エイ　チャン　ウー

皆さん、こんにちは。日本語能力試験Ｎ１の合格者として、短期大学に在籍している短期間で一発合格を目指すため、私が行った勉強方法について伝えたいと思います。

Ｎ１に合格してから、友人によく聞かれたことは、一日どのぐらい勉強しましたかということです。正直に言うと、介護福祉士を目指す社会福祉学科２年生の私は、Ｎ１の勉強より毎月行う国家試験合格に向けての模擬試験のほうに重点をおかなければなりませんでした。時間を分けて国家試験の勉強と日本語の勉強を行うことが一番難しかったです。だから、毎日通学する時間を使って少しでも日本語の勉強をしようとしました。スクールバスに乗りながら聴解の分野を練習したり、漢字を覚えたりすることで時間を大切に使いました。

次に大切なのは、自分の集中できる場所を探すことです。集中できる場所は人それぞれ違います。喫茶店で勉強することが好きな人もいるし、自分の部屋じゃないと集中できない人もいると思います。私の場合は、学校の図書館が一番集中できる場所でした。図書館には過去問題集もたくさんあるし、時間的にも夜の 19 時まで使えますので、私にとってすごく便利でした。そして、図書館では自分の周りを見ると、みんながそれぞれ一生懸命頑張っている様子が見られるので、自分も頑張らなければいけないという気持ちになり、モチベーションを上げることにもつながっていると思います。

また、自分の得意な分野と不得意な分野をよく理解して、勉強の方法を考えるのが大事だと思います。例えば、私の場合は漢字が苦手だということの自覚があったので、どこでも簡単に勉強できる漢字のアプリを使って練習しました。そして、自分が聴解が得意ということから、聴解の分野でできるだけ多く点数が取れるように力を入れて練習しました。

これから N1 を受ける後輩留学生たちに伝えたいことは、出来れば１年生の時から、Ｎ１の勉強を始めると一番安心だと思います。留学生の生活は大変ですが、周囲も頑張っている人たちに囲まれている環境ですから、学生時代にＮ１に合格できるようにしたほうがいいと思います。努力したら絶対できることなので、自分自身を信じて頑張ってくださいね。